

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	宮崎
全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3425
事務事業名	4186 観光・誘客宣伝事業										
所 属	150300 産業振興部・商業観光課										
施 策	05042700 観光産業の振興										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	070103 商工費・商工費・観光費									
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業									
事業目的						事業概要・効果					
観光の振興を行い、多くの観光客が訪れることにより、須坂市の活性化を図る。						須坂市を多くの人に知っていただくためのプロモーション活動、シティーセールス活動により、多くのお客様に須坂市を訪れていただき、また、繰り返し訪れていただくために、市外、県外に向かって広く情報を発信、PRする。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 平成26年度末の北陸新幹線金沢延伸を見据え、大阪に拠点を置き関西方面を重点とした誘客宣伝の実施。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」として、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。

指標名	観光案内所の観光客利用者数				
算式	観光協会窓口での観光案内数+交流センター入館者数-交流センター多目的ホール利用者数				
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標		24,500	25,500	26,000
	実績	25,618	24,285	22,950	
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる。				
最終年度目標の根拠	平成22年度19,920人の30%増を目指す。				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		46,320	57,838
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	9,579	0
	地方債	0	0
	その他	0	5
一般財源		36,741	57,833
人員数(人)	正規職員	1.6	1.6
	嘱託職員	0.0	0.4
	臨時職員	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	10,972.8	10,972.8
	嘱託職員	0.0	1,090.0
	臨時職員	235.4	0.0
	計	11,208.2	12,062.8
市民一人当たりの経費		1.1	1.3
総額		57,528.2	69,900.8

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	
11節 需用費	3,530	消耗品、印刷製本
13節 委託費	26,899	観光案内誘客商務委託、観光PR業務委託（大阪観光情報拠点整備事業）
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	13,936	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	1,945	役務費（広告料）

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	
11節 需用費	3,882	消耗品、印刷製本
13節 委託費	34,592	観光案内誘客商務委託、観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,163	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	5,191	役務費（広告料）

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	観光客の誘致による地域の活性化は早急に取り組む必要があり、要望も強い。北陸新幹線の金沢延伸や、善光寺御開帳を見据え、積極的な観光PRによる誘客が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	観光客は頭打ち傾向であるため、更に戦略的広報等に努め目標の達成を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	観光PR等の必要性は増加しており、様々な団体等と連携をはかり、最少の人員で対応している。市の宣伝PRは様々な形で行っているため、効率を高める工夫も必要である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

北陸新幹線の金沢延伸や、善光寺御開帳を見据え、観光PR業務委託（大阪観光情報拠点整備事業）や、観光協会との連携により、観光誘客宣伝を積極的に実施した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
観光PR事業を中心とした施策展開により、観光誘客や知名度アップに一定の成果が得られた。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
誘客事業は、市単独から広域的な取り組みへと変化してきている中で、関係市町村や関係団体と連携を一層密にし、取り組みを継続してきている。特に、大都市圏での誘客は今後も引き続き積極的に展開することが求められる。	

外部評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
外部評価コメント	
<p>（評価概要）このような事業に対しては固く形式張って考えず、柔軟な考えでどんどん実行していただきたい。須坂市外の方々に広報するだけでなく、須坂市民に対しても自分のまちに誇りが持てるよう、積極的に働きかけていただきたい。</p>	